

令和7年度 胆振地区の研究活動

研修部長 苫小牧市立錦岡小学校

校長 河 毛 幸 至

1 はじめに

胆振管内校長会は、4市7町の公立小中学校と義務教育学校に属する100人で組織され、校長一人一人の職能向上やチーム学校の強化につなげるため、各市町校長会が足並みをそろえるべき取組や、その基盤となる義務教育9年間を見据えた小中連携の在り方、校長の責務について追究している。令和6年度からは第9期研究計画に基づき、胆振管内校長会教育研究大会の開催を通して、課題を共有し、具体的な解決の方策の検討を行うなど「チーム胆振」として管内教育の維持向上に向け研鑽に努めている。



◇9月26日 第66回道中研究大会 胆振・室蘭大会◇

2 研究計画

(1) 活動方針

校長会として組織的に取り組んでいく。新たな取組や大きな改善のためには、様々な情報や状況の分析が必要であり、校長会として英知を集結させ、胆振管内としての大きな流れを作る中で自校の特色を出していくことが効果的かつ効率的な学校改善につながっていく。全連小・道小や全日中・道中との関連を図りながら、グローバルな視点として全国的な動向や情勢を押さえつつ、胆振の実態を踏まえた課題解決につながる研究を推進する。

(2) 研究について

① 基本主題

「未来を拓き よりよい社会を創り 生き抜く力の育成を目指す学校教育の推進」
～ふるさとへの誇りと確かな学びの力を育むチーム胆振としての学校改善～

② 研究領域

ア 教育課程 「教育課程」を活かす学校経営

視点1 各種調査を活かした学校経営（学力・道徳・体力など）

視点2 特色ある教育課程を編成・実施する学校経営（小中連携・地域素材・学校の新しい生活様式など）

イ 組織・運営 「人・組織」を活かす学校経営

視点1 組織が機能する学校経営（体制・資質向上・働き方改革など）

視点2 各種施策を踏まえた学校経営（方針・事業・働き方改革など）

ウ 家庭・地域・関係機関との連携 「家庭・地域の教育力」を活かす学校経営

視点1 家庭・地域と連携した学校経営（学校運営協議会・PTA活動など）

視点2 評価を活かした学校経営（学校評価・学校関係者評価など）

(3) 本年度の研究推進

- ① 第9期研究計画（4か年継続研究）の2年次として、昨年度の成果と課題を踏まえながら、その改善策の検討と新たな課題の明確化に努める。

- ② 道中胆振室蘭大会の開催に向けて、実行委員会を中心に胆振管内校長会が一丸となって準備・運営にあたる。（令和7年度胆振管内教育研究大会は開催しない）
- ③ 全連小や道小、全日中や道中、各市町校長会との連携を密にし、一貫性のある教育研究の推進を図るとともに、研究成果の還流・交流に努める。
- ④ 管内研修部長研修会を通して研究の推進と交流を図るとともに、管内教育の実態把握と情報交流に努める。
- ⑤ 研修部報「いぶり」を適時適切に発行する。

3 研究活動の概要

- (1) 全連小各種委員会調査への協力
- (2) 第66回道中研究大会胆振・室蘭大会の運営と参加

※胆振管内教育研究大会は開催しない。

- 期 日 令和7年9月26日（金）～27日（土）
- 会 場 室ガス文化センター 室蘭プリンスホテル むろらん広域センタービル
- 主 管 胆振管内校長会
- 内 容
 - ・分科会 提言発表
第2分科会
「新たな時代に求められる資質・能力の育成と学校評価の充実」
提言者；苫小牧市凌雲中学校長 細部 善友
 - ・分科会
第5分科会において、協議
 - ・講演会 「社会の創り手を育てる中学校教育に
今、必要なこと そして、期待すること」
変革を成し遂げるリーダーシップ・アントレプレナーシップ
～ 夢ある場所に人は集まる ～
講師 パナソニック I T S 株式会社
代表取締役社長 田辺 孝由樹 様

- (3) 第68回道小教育研究根室大会への参加
○期 日 令和7年9月12日（金）～13日（土）
- (4) 第76回全日中研究協議会 香川大会への参加
○期 日 令和7年10月23日（木）～24日（金）
- (5) 第77回全連小研究協議会 福岡大会への参加
○期 日 令和7年10月16日（木）～17日（金）
- (6) 道中第4ブロック研修会への参加
○期 日 令和7年11月14日
○主 催 日高管内校長会

4 おわりに

今年度は、第66回道中研究大会胆振・室蘭大会を胆振管内の主管で行ったので、教育研究大会は行わなかった。第9期研究計画については、各市町で行うこととした。また、来る令和8年全連小北海道大会の第6分科会の提言発表に向けて、全会員を対象にアンケート調査を実施し、研究の方向性の確認を行った。

今後も各校の校長が独自に取り組むのではなく、会員の英知を結集し、校長会として一体感ある取組を推進していきたい。